

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 図画工作

2 報告概要

| 出版社名 教科書名 | 特 徴 |
|----------------------------------|--|
| 日本文教出版 ずがこうさく 図画工作 1・2年 | <p>（1）表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学びを写真で振り返るページがあり、次の学びへと生かすことができる。保幼小連携にも配慮されている。（上下） ・「鑑賞スタート」「材料と用具の引き出し」のページなどの写真が工夫されている。様々な材料や色などの提示の仕方が豊かで、視点が広げやすくなっている。（上下） ・活動場所が教室だけでなく、校庭や体育館などでの活動写真が適宜提示されているので、視点や活動が広げやすい。 （上 P16・17「すなやつちとなかよし」 P42・43「ならべてならべて」など） ・作品例の写真や活動例が多く掲載されていて活動の支えになっている。さらに、身近にある材料を使用しているので親近感がわき、生活や社会の中での形や色などに興味をもちながら授業につなげられる。（上下） |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「広がる図工」のページでは、地域や社会、身近な自然などとの関わりが大切にされている。生活や社会につながり、広がる図画工作の提案になっている。 （上 P52・53「みんなとつながる」、下 P32・33「すてられそうなものがよみがえる」） ・「教科書美術館」の美術作品や制作の様子、用いられている素材などが、題材ページとリンクしているので、造形的な見方や考え方をより深められる。 （上 P24・25「土をかんじて」、P29・30「お気に入りの葉」 下 P22～25「体でかんしょう」、P40～45「光から生まれる形・色」） ・自然を見たり、自然にふれたりする題材があり、活動を通して五感を働かせながら、自然を大切に作る心が育まれる。 （上 P24・25「土をかんじて」、P29・30「お気に入りの葉」、上 P32・34「ここがすみか」など） ・光と影を楽しむ場面として、暗い場所と明るい場所での活動例が掲載されているので、日常の生活場面と結びつけて楽しめる。（下 P40・41「光とかげから生まれる形」） ・「図工のみかた」では、手と道具を使っての様々な表現方法があることが分かり、日常生活や社会の中でのそれぞれの「よさ」を考えるきっかけにもなる。 また、その「よさ」をこれからの表現に結びつけて生かすことができる。 （上 P34・35「手と道ぐ」） |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな色、白黒の濃淡が様々なイメージを持たせることに気づかせてくれる内容である。（上P8「心のもよう」、P16「消してかく」） |

| | |
|------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・造形が人々の生活と密接につながり、人々の生活をよりよいものに行っていることに気づけるような工夫がされている。また、普段見慣れている風景に糸やひもなどを使い、少し工夫しただけ異空間を作り出す活動の楽しさを味わうことができる。(上P14「あんなところがこんなところに」、P36「どんなことをどんな方法で」下P14「糸から生まれるわたしの空間」、P38「笑顔が生まれるしかけ」) ・普段見慣れている校舎の奥行きを理解しながら、見る角度を変えることで楽しいものを作る喜びを味わうことができる。(下P8「ここからみると」) ・鏡を使うことで材料の映し方を工夫しながら奥行きのある作品を工夫して作る活動ができる。 ・仲間と協力し光でできることを試し、空間を作り替える活動を楽しむことができる。(上P42「光と場所のハーモニー」) ・身近にある色々なものにふれその特徴を感じ、それを作品に生かしていくという活動で、児童のオリジナリティを生かすことができる。(下P52「感じて考えて」) |
| 全学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には「材料と用具のひきだし」というページがあり、いろいろな用具の使い方や材料の特徴などが詳しく掲載されているので、作品作りにとっても役立つ。また、タブレットの使い方についての説明もあるのでより多彩な造形活動が可能になる。 ・見方・考え方を広げられるように、巻末に「アート・カードをたのしもう」のページが設けられている。(全学年) ・ストローやスズランテープ、大きなビニル袋などを使った題材が少なくなり、プラ材削減を意識した環境への配慮が見られる。 |
| 1・2年 | <p>(2) 個性を生かして活動することができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の画像が大きく、シンプルで分かりやすいので、児童が参考にしやすい。「早く活動したいな」という意欲や興味・関心が高まる。参考例が難しすぎず、「自分にもつくれそう」という意欲がわいてくる。(上下) ・パクパク動かす工作の題材では、コップや袋での作品例が掲載されているので、活動の選択肢が広がる。(開隆堂は牛乳パックの仕組みのみ掲載) (上 P26・27「いっしょにあそぼう ぱくぱくくん」) ・滑る仕組みを利用した動くおもちゃづくりが、身近な材料とクリップでできる。仕組みが簡単なので、初めてでもイメージが広げやすい。 (上 P44・45「スルスルビューン」) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ことばから思いうかべて」「言葉から感じて」では、二次元コードに数種類の「朗読」があるので、自分の思いにあわせて物語を聞いて絵に表すことができる。(上下) ・絵画作品例には、水彩絵の具の様々な技法を使った作品がちりばめられているので、参考にしやすい。(上下) ・表現することが楽しめるようになってきた中学年で、あえて身近な材料から「自分だけの筆やペン」をつくることによって、さらに表現することをわくわくと楽しめるようになっている。(上 P36・37「これでかきたい」) ・低学年に引き続き、材料の感触を確かめながら、体全体で表現する題材が |

| | |
|------|--|
| | 設けられている。(上下) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な色、自由にカットした板のパーツ、言葉、1枚の写真、音などから思い思いのイメージを膨らませ表現する楽しさを味わわせることができる。 (上P8「心のもよう」、P18「糸のコススイ」、P32「言葉から思いを広げて」、P40「まだ見ぬ世界」、下P10「音の絵」、P34「言葉から想像を広げて」) ・タブレットのアプリを活用し、児童の興味関心を喚起している。また、自分たちで映画を作ったような喜びを感じることができる。(上P12「形に命を吹き込んで」) ・表現したいことを言語化することで、そのときの状況を具体的にイメージすることができる。また、これまでの表現方法を活用することで自分なりのオリジナリティあふれる作品作りにつながる。(上P24「あのときあの場所わたしの思い」) ・箱の中の限られたスペースの中に、セロファンやアルミホイル等で飾り付ける、それを小さな穴から見ることで無限の広がりを感じさせる作品作りを体験することができる。(上P34「のぞいてみると」) ・自分がおもしろい、美しいと感じる形を追求し、自分たちがこれまで見た自然の面白さ・不可思議さを振り返りながら作品作りをすることができる。 (上P50「けずって見つけたいい形」) ・布に液体粘土をしみこませ、いろいろ試しながら固めたり、版に色々な色を塗り重ねたりして、そこからイメージを膨らませながら作品作りに取り組むことができる。(下P16「固まった形から」、P48「ほり進めて刷り重ねて」) ・いろいろな視点から描くことの大切さ、絵に自分の思いを込めることの大切さが提示されている。(下P26「わたしの大切な風景」) ・自分たちの生活を振り返り、想像力を働かせて色々な世界を考えるとといった楽しい活動P50「あったらいいなプロジェクト」 ・針金で簡単に骨組みが作れることで、思い思いの姿勢を作ることができ、自分の思いを表現しやすい。(下P54「未来のわたし」) |
| 全学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード(QRコード)がついていて、タブレットで読み取り、活動の参考になるものが見られるようになってきている。(作品例・用具・動画・資料など) ・教科書に掲載されていない作品も見られるので、いろいろな作品を見ることでアイデアの幅が広がったり、活動につながられたりする。 ・初めてくぎ打ちをする題材では、自分の目の前にある木材にだけ集中し、個別にくぎ打ちを楽しめる内容になっているのがよい。楽しみながらも、安全に活動ができる。 ・諸外国の児童の作品も掲載されているので、国際理解について考えるきっかけになる。 |
| 1・2年 | <p>【観点3】 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の左横に「ぞうけいあそび」「こうさく」などの表記があり分かりやすい。ほとんどの題材に「表現」だけでなく「鑑賞」の記述があり、「表現」 |

| | |
|------|--|
| | <p>と「鑑賞」の関連性が大切にされている。(上下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえり」が児童にも分かりやすい言葉で示されているので、自己評価しやすい。(上下) ・造形あそびや絵画・立体などの各領域がバランスよく配列されているため、「次はどんなことをするのか」と期待がもてるような配列になっている。(上下) ・作品例が多く掲載されているので活動の参考になり、見通しがもちやすく、低学年の児童でも自主的に活動が進められる。(上下) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・下巻に学びをふり返るページが設けられていて、自分の活動をふり返り、成長を確かめることができる。(下 P54「どんなことをためしたかな どんなことを見つけたかな」) ・タブレットを使用した題材では、いろいろな角度からの見方を試す方法が掲載されていて、鑑賞の視点が広がる。また、二次元コードでは、写真が切り取ることができるアプリがついているので、好きな形のフレームで物を見ることを楽しめる。(下 P52・53「写真をとったら見えてきた」) ・「図工のみかた」の「ひらめきのタネ」では、構想場面での支えになるようなページになっているので、何を表現したいか分からないときのヒントになる。(下 P16・17) ・アイデアスケッチや、だんボールの切り方が何種類か提示され、作品例と併せて自主的な活動の支えになる。(下 P34・35「おもしろだんボールボックス」) ・「鑑賞」のページでは、一人で楽しむ場面と、友達と交流する場面の両方が設けられているので、様々な楽しみ方ができる。また、鑑賞の活動の順序が書いてあるので、参考にしながら活動が進められる。(上 P48・49「絵を見て話そう」、下 P52・53「写真をとったら見えてきた」) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの作品を探することで、絵画に興味を持たせ、いろいろ視点からものを見る楽しさを感じることができる。(上 P22「身近なものを見つめて」) ・自分たちが飾り付けた光のアートをタブレットで撮影し、他のグループの作品のよさ・工夫を味わえると同時に実際にみたものと写真では印象が違うことにも気づかせている。(上 P42「光と場所のハーモニー」) ・巻末にミニアートカードが用意され、有名画家の作品にもふれることができる。(上巻末) ・全体を通し、作品を鑑賞する際のキーワード、どのような観点で作品作りに向かえばよいかといったことが提示されているので、児童がどのようなポイントで作品を鑑賞すればよいか分かりやすくなっている。(上下) ・ゲルニカの作品から、気づいたことを発表し合う中で、造形に思いを込めることのよさを考えさせるよい機会になる。(下 P48「平和を願って」) |
| 全学年 | <p>(4) 表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザインなどが学習意欲を喚起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が読めない1年生への配慮で、目次が巻末にあり、興味や関心が高まるような写真から掲載されている。わくわくするようなページが続いている。(上) ・かたかなを学習していない1年生に配慮し、カタカナ表記が少なくなってい |

る。(上)

- ・「材料と用具のひきだし」のページでは、金槌やげんのう、のこぎりの使い方などが、シンプルで大きなイラストと、必要に応じて写真と一緒に掲載されているので分かりやすい。安全面に配慮されている。(上下)
- ・作品例の写真だけでなく、学びを生み出す場面や制作途中の写真などが適宜掲載されているので参考になり、自分の活動と結びつけやすい。(上下)
- ・1・2年の教科書に比べ、ほとんどの写真がマスクをつけている児童ではあるが、活動の楽しさや様子は十分に伝わってくるので、あまり気にならない。
- ・資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてがシンプルに示されている。その中でも、特に大切なめあてのヒントが別枠の中に明示されているので分かりやすい。
- ・表現と鑑賞を結びつけられるように、「鑑賞のヒント」が虫眼鏡マークで示されていて分かりやすい。
- ・巻末に示された用具の使い方などの写真や図が大きく見やすい。
QRコード「用具」でも動画で確認できるので、さらに分かりやすい。
- ・吹き出しや説明などの文字情報が多すぎず、適切である。
- ・ユニバーサルデザインフォントが使用されているので、読みやすい。
- ・題材に関わる作品例や活動の写真が鮮明でカラフルな反面、背景の色が薄く、使用する用具、片付けやふり返りのマークなどのデザインをシンプルにし、色味を抑えているので、紙面が賑やかになりすぎず、見やすい。
- ・裏表紙の「つながる図工」では、地域の人や他学年の友達、大学の先生など、様々な人とのかかわりが掲載されていて興味がわく。
- ・全体を通して、児童が疑問を感じたり工夫しようとしたりするポイントが吹き出しに書かれており、児童も自分自身のこととして捉えるきっかけになっている。
- ・すべての単元に、その単元にあった「学習のめあて」が巻頭に分かりやすく提示されているので、児童がどのようなことを狙って作品作りに取り組めばよいか分かりやすくなっている。
- ・各単元に、「材料や用具」「注意点」などが提示されており、児童の活動のよいアドバイスになっている。
- ・全体を通して、児童が疑問を感じたり工夫しようとしている雰囲気を感じられる表記になっているため、児童も自分自身のこととして捉えるきっかけになっている。
- ・様々な作品が提示されているので、児童の思いに沿った作品に出会いやすい。
- ・児童が作品に没頭している姿も多く提示されており、一生懸命考えることのよさが伝わってくる。
- ・背景の色が薄く、作品のよさが際だって見える工夫がされている。

その他

- ・他教科とつながりをもたせられる題材について、「教科名」が示されていて、教科横断的な学習を支えている。

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 地球や環境に優しい提案がなされている。(3・4年下 P32・33「すてられそうなものがよみがえる」)「つながる学び」では、SDGsにもふれている。(全学年) |
| <p>開隆堂 ずがこうさく 図画工作</p> <p>1・2年</p> | <p>(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> QRコードを読み取った先のサイトにそれぞれの題材に合わせた鑑賞カードやふりかえりシートがある。(上下) 作品例の形や色をはっきりしていて、観点1を達成するための図工の作品としての完成度が高い。(上P30「あそぼうよ パクパクさん」) 生活や社会の中から題材を探し出すという意識を持ちやすい写真が大きい。(上P32「こすりだしから うまれたよ」) 身の回りの自然の形や色に目を向けさせ、それを図工の学びへと繋げている。(下P42「小さな びじゅつかん」) 「○○みたい」「ぞうきん」等、児童の身の回りにあるものと題材をつなげる言葉が使われている。(下P14「さらさら だるま」) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> 作品作りを通して、生活や社会の中にあるものの形や色をよく観察し、とらえる力を育成することに繋がる。(上P32「このカタチ へんしんすると」) ビー玉を転がすための面白いコースを釘で作るという工作としての目的意識が明確で取り組みやすい。(上P42「トントンくぎ打ち コンコンビー玉」) すでに存在するものをいかに自分らしく作り変えるかという活動を通して、造形的な見方・考え方を育成することに繋がる。(上P52「みんなで オン・ステージ」) 材料の見方や発想の仕方を学ぶことができる。(上P64「ひらめきショートチャレンジ」 下P64「ひらめきショートチャレンジ」) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> 外国の友だちの絵が紹介されていることで、外国の生活にも目が向く内容になっている。(上P9「季節を感じて」) 身体を使った題材で、生活とのつながりが大きい。(上P16「動きの形をつかまえよう」) 身近な空間を変化させることで、新たな視点を持つことができる。(上P36「この空間がいい感じ」) 贈る相手を設定することで、よりイメージを膨らませて考えることができる内容となっている。(下P10「絵のお話でプレゼント」) 生活にあるものから発想させることで、イメージを膨らませやすい。(下P20「不思議なとびらのむこうには」) 芸術家の表現を取り入れることで、美術史に気軽に注目できる内容である。(下P28「見て感じてわたしの表現に」) 使う場面を具体的に想像することで、生活や社会とのつながりが大きい内容である。(下P46「わたしはデザイナー 12さいの力で」) |
| 1・2年 | <p>(2) 個性を生かして活動することができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品例が抽象的であったり写実的であったりして、自由に発想しやすい。 |

| | |
|------|---|
| | <p>(上P42「おしらせします！にっこりニュース」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を「お友だち」と表記し、低学年児童の作品に対して抱く思いに寄り添った言葉が使われ、興味関心を喚起している。 (下P32「ぎゅっとしたい！わたしの『お友だち』」) ・写真の吹き出しからさまざまな発想に広がりやすい。(下P46「まどのある たてももの」) ・モチーフの色にとらわれない自由な色が作品例に使われている。(下P50「たくさん うつそう わたしの 形」) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品例の題材が多岐にわたり、児童の個性を引き出しやすい。(下P26「ちかごろ むちゅうです」) ・一つのモチーフから発想し得る作品例の表現方法がさまざまで、同じモチーフであってもいろいろな表現ができることを示している。(下P18「木々を見つめて」) ・貼る材料がさまざま示されており、中には「自分でつくった色紙」など個性的な作品に繋がるような材料も示されている。(下P12「はる はる はる絵」) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・作例が多く紹介されており、発想や構想がしやすい。 ・様々な仕掛けが丸い枠で紹介されており、参考にしやすい。(上P12「ビーム大ぼうけん」) ・表し方の工夫がコメントとともに記載されており、作例も多く紹介されている。(上P28「コロコロ ローラーダンス」) ・形の工夫とともに、着彩の作例が多く載せられており、工夫がしやすい。(上P32「進め！糸のこたん検隊」) ・日頃過ごしている学校を題材にすることで、個々の経験を生かせる内容になっている(上P40「学校おすすめガイド」) ・思い入れのある場所を題材にすることで、個々の経験が生かせる内容になっている。(下P22「わたしのお気に入りの場所」) ・自分の気持ちを題材にすることで、個々の気持ちが生かせる内容になっている。(下P26「わたしの二つの気持ち」) ・様々な作例や、技法が含まれた参考作品が紹介されている。(下P36～39「墨の達人」「墨や筆の技 水墨画の世界へ」) ・制作中の風景が多く掲載されており、制作に期待が持てる構成になっている。(下P42「ためして刷って 広がる思い」) |
| 1・2年 | <p>(3)「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けのやり方が写真付きで載せてあり、自主的に取り組みやすい。 (上P16「ならべて みつけて」など) ・キャラクターの声かけや吹き出しに書かれている言葉が題材目標に繋がり、かつ写真についている吹き出しが鑑賞の際のポイントとなり分かりやすい構成となっている。(上P26「すいすい ぐるーり」) ・身の回りのものの美しさをとらえ(鑑賞)、それを次の活動(表現)に繋がるよう構成されている。鑑賞の大切さが分かりやすい。(下P42「小さな びじゅつかん」) |

| | |
|------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動の作品例が多く載っていて鑑賞しやすく、児童の意欲を喚起している。(下P56「みんなの ギャラリー」) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・工作や絵の具の使い方などが写真付きで載っていて分かりやすく、自主的に取り組みやすい。(上下) ・美術作品を鑑賞した後に、自分の作品を振り返る活動があり、鑑賞と表現の繋がりを感じさせる構成となっている。(上P20「自然の色 どんな色」) ・表し方の違いから、同じモチーフであってもさまざまな描き方ができることを学び、それが自分の表現活動にも繋がると意識できる構成となっている。(上P26「小さな 美じゅつ館」) ・作品を作った後の鑑賞についての活動が具体的な例で示されており、児童が自然と友達作品にも目を向けられるような構成になっている。(下P38「本を開くと お気に入りの場面」) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「小さな美術館」があることで、表現活動と組み合わせた指導ができる ・造形や絵などの内容を連続して配置することで、参考にしやすい。 ・自然と生きるというキーワードで建築が紹介されており、表現と鑑賞がつながりやすい。(上P34「地球まるごとたからばこ」) ・『つながる造形』というキーワードから、表現と鑑賞だけでなく、社会や世界とのつながりを意識できる。(上P54「人やくらしとつながる」) ・芸術家の表現を取り入れることで、鑑賞を表現に自然につなげることができる。(下P28「見て感じてわたしの表現に」) |
| 1・2年 | <p>(4) 表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザインなどが学習意欲を喚起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あんぜん」表記で道具の使い方の意識を高めている。(上P18「チョッキンパッドでかざろう」など) ・「パクパクさんのつくりかた」が明記されており、工作の仕組みが分かりやすく、児童が学習に取り組むやすい。(上P30「あそぼうよ パクパクさん」) ・テレビ画面を模したページデザインが児童の興味を引く。(上P42「おしらせします！にっこりニュース」) |
| 3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品の広がっていくイメージとページのデザインが合っている。「自分の未来」を想像しやすくなるような写真とイラストが使われている。(上P38「未来にタイムスリップ」) ・子ども達の楽しそうな表情が印象的な写真を大きく載せていて、意欲を高めやすい。(上P34「みんなでつくろう ねん土ランド」上P42「トントんくぎ打ち コンコンビー玉」など) ・美術作品を鑑賞した後の活動について児童の作品例が載っていて活動内容が分かりやすい。(上P44「えっへん！わたしが主人公です」) ・想像を掻き立てるような吹き出しがある。ページの構成も具体的な場所と作品を対応させ活動のイメージをしやすくしている。(下P36「学校もりあげますコット」) ・作品例が見開きに大きく載っていてインパクトがあり、活動の中心である飛び出すカードの動きとリンクしている。(下P40「飛び出す ハッピーカード」) |
| 5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの背景が、題材を想起させるものとなっており、親しみやすい。 |

| | |
|-----|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・題材であるビニルひもを吹き出し代わりにしてコメントをつけることで、興味を持ちやすい構成になっている。(上P36「この空間がいい感じ」) ・望遠鏡のイラストとともにふきだしが用いられており、発見ということを意識しやすい。(上P44「わたしの町のひみつ教えます」) ・制作している様子の写真を用いることで、制作への期待感が高まる構成になっている。(下P36「墨の達人」) ・自然と生きるというキーワードで建築が紹介されており、表現と鑑賞がつながりやすい。(上P34「地球まるごとたからばこ」) ・つながる造形というキーワードから、表現と鑑賞だけでなく、社会や世界とのつながりを意識できる。(上P54「人やくらしとつながる」) |
| 全学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・使われている言葉が易しく、児童に分かりやすい。QRコードにも「タブレットたんまつでみ(見)てみよう」という言葉が添えられている。(全学年) ・各題材の重点となる目標が、字の色を変えてあったり下線が引いてあったりして、他の目標と区別されているため分かりやすい。(全学年) ・キャラクターが親しみやすい。(全学年) ・表紙の副題(「わくわくするね」など)が図工を楽しみたいという児童の気持ちに寄り添っている。(全学年) ・目標に近づくための助言がページの各所に散りばめられている。(全学年) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年の上はひらがな表記・下は2年生相当の漢字表記されている。 ・児童が初めて使うであろう道具(カッターナイフ)を使う題材では、初めに使い方を学習し、次に作品作りをするといったスモールステップの構成になっている。(下P44「わくわく カッターナイフ」 P46「まどのある たてももの」) ・「あわせて学ぼう」で他教科との繋がりをもつことができる。(全学年) ・他教科との繋がりとして、他教科の中でかかわりのある学習内容が記載されている。(全学年) |